
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第212号(通巻第279号)

2024年7月25日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

*****コンテンツ一覧*****

◆ 「第1回やまなし情報教育推進室学習会」の案内

■ 「ICT 支援学生」の研修経過報告

■ 「Wi-Fi 環境をフル活用した教育実習がスタート」の報告

■ 「教育ボランティア通信 No.54」の報告

■ 「令和6年度 第1回連携・教育研究会」の報告

■ 「令和6年度 期間採用者等研修」の報告

■ 8・9月の主な行事予定

これまでのセンターだよりの一部は、<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2306/> で見ることができます。

「第1回やまなし情報教育推進室学習会」のご案内

8月21日に「第1回やまなし情報教育推進室学習会」を実施いたします。今回の学習会では、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決に導くための効果的なICT活用法を学んでいただくことを目的としております。探究的な学びの授業デザイン、学習者中心のプロジェクト型学習のポイント、そしてクラウドツールの効果的な活用について体験的に学ぶことができます。本学習会は無料でご参加いただけます。

山梨大学 やまなし情報教育推進室 × インテル株式会社 主催

intel®

第1回 やまなし 情報教育推進室学習会

好奇心とICTで創る未来の教室 － 探究的な学びによる課題解決－



児童生徒が自分で課題を見つけ解決に導くための効果的なICT活用を学びませんか？

- 探究的な学びの授業デザインを体験的に学ぶことができます
- 学習者中心のプロジェクト型学習のポイントを知ることができます
- クラウドツールの効果的な活用について体験できます

(使用するインテルの教材：Intel® Skills for Innovation)

お申し込みはこちらです

- | | |
|----------|--|
| □ 対象 | 小・中・高・特別支援学校の先生、大学生・大学院生、教育関係者の方 |
| □ 定員 | 40名（先着順となります） |
| □ 場所 | 山梨大学甲府キャンパス |
| □ 研修日時 | 8月21日（水）10：00～16：00 ※昼食休憩1時間あり |
| □ 申込締切 | 8月7日（水）まで |
| □ お問い合わせ | 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター
やまなし情報教育推進室 edjissen-as@yamanashi.ac.jp |



「ICT 支援学生」の研修経過報告

学生が附属小中学校へ「ICT 支援学生」として赴き、ICT 活用に関するボランティアを行う事業が令和 5 年度から新たにスタートしました。大学の授業に留まらず、学校現場で ICT 活用について学び、実践を積み重ねていくことを目指しています。

学校や地域の ICT 活用の促進者としての素養を身につけられるよう、ICT 支援学生には派遣前や派遣中に研修会を実施しています。研修会では端末の基本的な操作スキル、児童生徒への接し方、ワークショップの実施方法等を学べる体制を整え、学生自身が力を高められるようにしています。また、クラウドツールを活用して学生と教員がコミュニケーションをとったり、派遣中のリフレクションを相互に参照できたりする仕組みを構築しています。

今年度は ICT 支援学生の研修を 6 月より始め、これまで 3 回実施し、今後も継続していきます。既に 7 月から附属小学校、附属中学校への派遣が始まっております。研修担当者と附属小学校、附属中学校のご担当の先生方との打ち合わせを経て「ICT 支援学生に求めるものは何か」をヒアリングしてきました。そのヒアリングでいただいた内容を第 1 回と第 2 回の研修で学生に報告し、これから始まる ICT 支援学生の活動のあり方を検討してもらいました。さらに、第 3 回目の研修では、派遣が始まった学生から学校での様子や、実際に支援学生としての活動について発表をしてもらいました。今後の活動も、センターだよりにて報告していきます。



図 2 研修用のクラウドツール (Classroom)

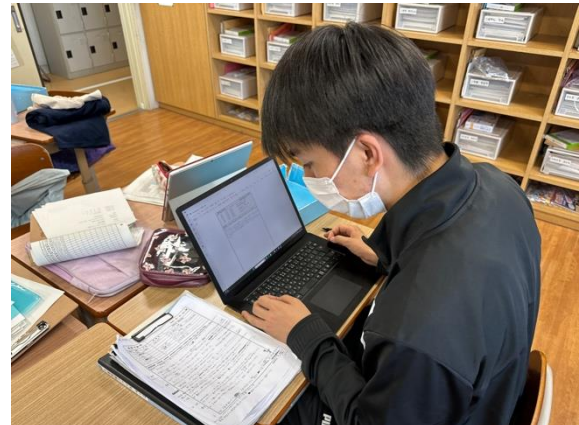


図 2 第 2 回研修 Classroom

Wi-Fi 環境をフル活用した教育実習がスタート

やまなし情報教育推進室

山梨大学教育学部では、これまで手書きだった教育実習録を昨年度に電子化しました。そして今年度は、甲府市教育委員会と附属学校園のご協力のもと、教育実習期間中に実習生が校内 Wi-Fi に接続できる環境を整えました。これにより、クラウド上にある実習録に入力をして即時に実習校の指導教員に確認をしてもらったり、インターネットをフル活用した教材研究を行ったりすること等が可能になりました。校内 Wi-Fi を活用することで、教育実習での学びを最大限高めることを目指しています。



実習生からは「大学と同じようにインターネット環境が使えるのでとても便利」、「クラウド上で指導案を共有しているので指導教員にすぐにコメントをつけてもらえてありがたい」といった声が聞かれました。教員養成の段階で ICT を活用した授業づくりや教育実践を積むことで、学校現場に出た際に ICT 活用を強みにした教員になってほしいと願っています。

やまなし情報教育推進室では、ICT 活用についての理論と実践を兼ね備えた教員の養成に尽力しています。また、県内の学校現場の先生方のお役に立てる取組を進めています。

Web ページでは最新の情報を発信していますので、ぜひアクセスください！

■山梨大学教育学部附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室 Web ページ

<https://www.yamanashi.info/>



現在、「研修動画で学ぶ令和の日本型学校教育～個別最適な学びと協働的な学びを実現する ICT を活用した授業づくり」を公開しています。推進室 Web ページの「オンライン研修」から詳細をご確認ください。

令和6年度教育ボランティアスタートセミナー

4月10日に令和6年度教育ボランティアスタートセミナーが開催されました。今回のセミナーでは、教育ボランティア学生運営委員長・副委員長によるお話やグループ協議、甲斐市立竜王小学校の久保田勲教頭先生からお話があり、教育ボランティアに関する疑問や不安を解消し、活動への理解が深まるセミナーとなっていました。本通信では、本会の様子についてご報告いたします。

まず、教育ボランティア学生運営委員長より激励の言葉がありました。副委員長からは「教育ボランティアの目的・ボランティアの活動例・教育ボランティアの良いところ・主な活動場所」に関する説明が行われ、教育ボランティア活動中のタイムスケジュール等を確認したことで、教育ボランティアに対する具体的なイメージを持つことができる内容となっていました。



その後、教育ボランティア経験者の先輩を交えたグループ協議が行われ、教育ボランティアに参加する際の身だしなみや交通手段、活動内容に関する質問に先輩が答えたり、アドバイスをしたりする時間が設けられていました。

グループ協議の後には、甲斐市立竜王小学校の久保田勲教頭先生からお話がありました。ネグレクトや家庭内暴力の問題など「The 現場」を理解することが可能であったり、自分自身に適した校種を見つけたりすることができるという教育ボランティアの利点を教えていただきました。また、学校現場では「特別な支援を必要とする子ども」の支援・安全確保を担うボランティアが求められているという現場



の先生の意見を聞くことができました。楽しい雰囲気でお話が進み、本会に参加した学生は久保田先生のお話に釘付けになっていました。特に身だしなみに関する先生のお話で「服装・髪型など多様性を受け入れる時代に応じて学校現場も変わろうとしているが、教育に携わる者として、子どもの前に立つ際には万が一を想定する必要がある。」という説明に学生も納得している場面があり、オンオフの大切さを共通認識するきっかけとなりました。

本会では、1年生をはじめとした90名の学生が参加し、充実した時間となりました。本学期も多くの学生が教育ボランティアに参加していただけると嬉しいです。

※ 教育ボランティア通信は、ボランティア委員会の学生が作成したものです。

令和6年度 第1回連携・教育研究会 実施報告

山梨県総合教育センターと山梨大学附属教育実践総合センターの連携により、第1回連携・教育研究会を開催いたしました。顔合わせを兼ねて、今年度の事業計画等を協議し、教育実践・研究に関する情報交換を行いました。

1 日 時 令和6年5月20日（月） 【全体会】 15:00～15:30

2 会 場 山梨県総合教育センター

3 出席者

＜実践センター＞

長谷川センター長、中込司特任教授、秋澤客員教授、小川客員教授、小尾客員教授、河西客員教授、桐原客員教授、河野客員教授、小林客員教授、樋口客員教授、三井客員教授、藤原教授、萩原教授、三井准教授、稲垣准教授、渡部准教授、角田准教授、樋川准教授

＜山梨県総合教育センター＞

天野所長、手島学校運営支援統括幹、萩原情報教育推進官、重田義務次長、藤巻県立次長、林管理部長、田中相談支援センター長、数野ICT教育支援センター長、藤原研修指導課長、伊藤業務推進主任、外川キャリアアップ研修主任、平沼教育研究推進幹、江川調査研究課副主幹・指導主事

4 協議内容

（1）連携・教育研究会について

- ・ 令和5年度の実施状況と今年度の事業概要
全ての内容について承認された。

（2）その他

- ・ 子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会について
全ての内容について承認された。

5 連絡事項

- ・ 研究支援の概要について



【分科会】 15:30～15:50

全体会終了後、7つの分科会（小学校、中学校、高等学校、情報教育、教育相談、特別支援教育、教育支援）に分かれて、自己紹介や研究の方向性等の確認を行った。

■「令和6年度 期間採用者等研修」の報告— 山梨県教育委員会・山梨大学連携事業 —

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や、教育に関する実践力を高めたい若手教員、学生・院生に対して、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等といった内容を主とした研修を開催しました。

連携する山梨県教育委員会には、講師のご推薦や案内状の県下全校への配布等、多岐にわたりご協力をいただきました。

次に紹介する参加者アンケートのとおり、好評のうちに研修を結ぶことができました。

1 実施日時

令和6年5月18日（土） 8：30～12：30

2 実施方法・会場

対面およびオンラインによるハイフレックス方式で開催（M-12教室他）

3 実施概要

8：30～ 8：50 受付（オンライン入室許可）

8：50～ 9：00 開会行事 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター長 挨拶 等

9：00～10：00 研修1（全体研修）

「支援を必要とする児童・生徒も含めた人間関係づくり」

富士吉田市立明見小学校 上嶋 宏樹 教諭

10：10～11：10 研修2（教科等指導法研修）

「児童・生徒をひきつける授業の工夫」

小学校	雨宮 康治 先生	甲府市立大里小学校	教頭
-----	----------	-----------	----

中学校	宮下 昌久 先生	富士吉田市立下吉田中学校	教諭
-----	----------	--------------	----

高等学校	本多 哲也 先生	山梨県立農林高等学校	教頭
------	----------	------------	----

11：20～12：20 研修3（学級経営研修）

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」

小学校	村田 利恵先生	北杜市立長坂小学校	教頭
-----	---------	-----------	----

中学校	古屋 秀輝先生	甲州市立塩山中学校	教諭
-----	---------	-----------	----

高等学校	高鳥 亮太先生	多様性社会・人材活躍推進局 労政人材育成課 主幹	
------	---------	--------------------------	--

12：20～12：30 閉会行事



4 R6 期間採用者等研修（教師力スキルアップ研修） 受講者の状況

【受講希望者数 50 名 当日受講者延べ人数 40 名 の内訳】

研修 1			研修 2			研修 3	
	対面	オンライン		対面	オンライン	対面	オンライン
全体 研修 (M12)	22名	18名	小学校(M12)	8名	9名	8名	8名
			中学校(M11)	9名	5名	9名	4名
			高等学校(N11)	4名	0名	4名	0名
計	40名		35名			33名	

過去の参加者数 2020(R2)：中止、2021(R3)：76 名、2022(R4)：76 名 2023(R5):62 名

5 参加者アンケートより（一部）

- これまで特別支援教育について、個に応じた指導が大切だとなんとなく曖昧な理解をしていました。今回の研修を通して、当事者意識を持ったり、子どもに意思決定の場を設けてあげたりするなど、現場で働くことになった際にも活かすことができる具体的な手法や姿勢を学ぶことができてとても有意義でした。ありがとうございました。
- 本年度、中学校で自閉症・情緒障害学級の担任をしております。わかってはいても、時間が限られた中で「生徒の決断（選択）を待つ」ことの難しさを感じています。しかし、改めて当事者である生徒の考えを無視するわけにはいかないことを確認することができました。限られた中で、折り合いをつけることを日頃から意識しようと思いました。
- 教科は違えども、3 観点での評価方法や方針について、納得することができました。また、興味関心をひく課題の設定や発問には、単元の見通しをもった教材研究が必要であることを再確認できました。
- 若手とベテラン、それぞれの良さは互いを補完していることから、改めてチームとして学校現場は成立するのだと考えさせられました。今後も、先輩方の経営手腕を見せていただく中で、自分なりの方針を固められるようにしていきたいと思います。



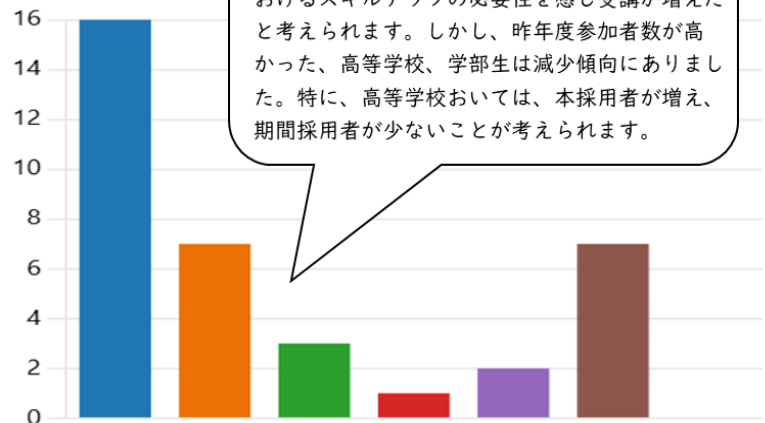
R6 期間採用者等研修・教師カスルアップ研修 アンケートからの振り返り

◆アンケート回答者数

36名

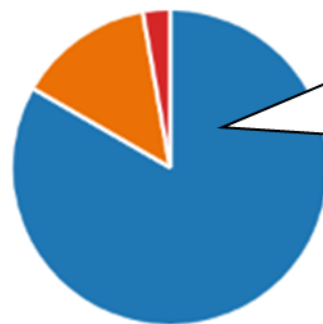
Q1.所属する学校種をお答えください。(単位:人)

● 小学校	16
● 中学校	7
● 高等学校	3
● 特別支援学校	1
● 学部生	2
● 教職大学院生 (現職院生も含む)	7
● その他	0



Q2.この研修を受講するのは何回目ですか

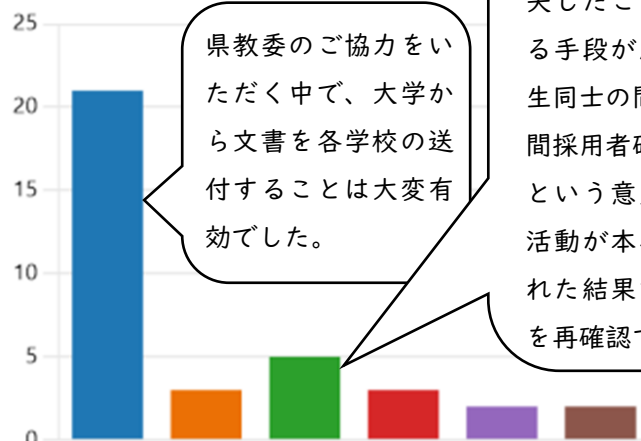
● 1回目	30
● 2回目	5
● 3回目	0
● 4回以上	1



例年、本研修に対する受講者の評価は高いにも関わらず、リピート率が16%低いのは、昨年度からの傾向と同様に、期間採用者が本採用になる方が増えているためではないかと思われます。

Q3.この研修をどのようにして知りましたか(複数回答可)

● 所属校に送られた大学からの文書	21
● 山梨大学のホームページ	3
● 同僚等からの口コミ	5
● 大学の授業等	3
● ポスター等	2
● その他	2



昨年度、様々な宣伝活動を工夫したことにより、情報を得る手段が広がったことで、先生同士の間で情報共有から「期間採用者研修会を受講できた」という意見でした。昨年度の活動が本年度の成果として表れた結果であり、その重要性を再確認できました。

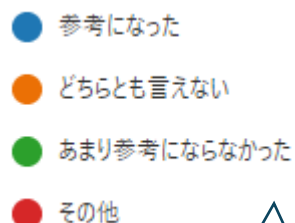
Q4.受講した分科会（研修2・研修3）の校種をお答え下さい



受講状況につきましては、8ページの4に詳細を掲載しています。



Q5.6.7「研修」の内容についてお答え下さい



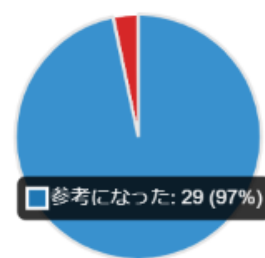
すべて高い評価でした。講師の皆様へ感謝いたします。



修1（全体研修）

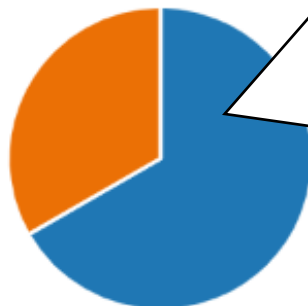


研修2（校種別）
（教科等指導法研



研修3（校種別）
（学級経営研修）

Q11.本年度、教員採用試験を受験予定ですか。



教員採用試験受験予定者が約7割ほどいらっしゃるということで、今後も研修内容に、教員採用試験を見据えた喫緊の課題を取り入れていきたいと思えます。また、採用されてからの教師力アップに関わる内容も、バランスよく取り入れるようにいたします。



■ 8・9月の主な行事予定

8～9月の 行事予定 山梨大学教育学部の 関係行事を含みます	研 修 ○「第1回 やまなし情報教育推進室学習会」 8月21日（水）10:00～16:00 ※小・中・高・特別支援学校の先生、大学生・大学院生、教育関係の方を対象に行います。 詳しくは、本センターだよりp2をご覧ください。 教員採用試験対策講座 ○教員採用試験スタートガイダンス2 8月2日（金）13:20～15:00…2年（次年度教採受験者） 8月2日（金）15:20～17:00…3年、M1（次年度教採受験者） ○フォローアップ相談会1 8月29日（木）10:40～12:10…4年、S1、M2 ○教採スタートアップ相談会 9月27日（金）16:30～18:00…2年、3年 進路支援 ○進路支援ガイダンス1年 9月30日（月）13:10～14:40…1年全員
---	---